

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【公表番号】特表2008-532803(P2008-532803A)

【公表日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2008-500739(P2008-500739)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/00 B

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月26日(2009.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

順番に、

(a)反応性官能基を有する熱可塑性ポリマーを含む可融性反応性高分子粒子を含む上側可融性多孔質層、及び

(b)融解させたときに、該熱可塑性ポリマー上の該反応性官能基を架橋することができる相補反応性官能基を有する多官能化合物を含む下側架橋剤含有層を支持体上に有して成るインクジェット記録要素。

【請求項2】

該熱可塑性ポリマーが、エポキシ及び/又はオキサゾリン基から成る群から選択された反応性官能基を有する、0.5~50パーセントのモノマー単位を含むか、

該熱可塑性ポリマーが、酸官能基、ヒドロキシ官能基、アミン官能基、又は酸無水物官能基を含むか、

該熱可塑性ポリマー及び該多官能化合物がそれぞれ、ヒドロキシル基及びエポキシ基を含むか、

該熱可塑性ポリマー及び該多官能化合物がそれぞれ、ヒドロキシル基及びカルボン酸基を含むか、

該熱可塑性ポリマー及び該多官能化合物がそれぞれ、オキサゾリン基及びカルボン酸基を含むか、

該熱可塑性ポリマー及び該多官能化合物がそれぞれ、カルボン酸基及び相補架橋基を含むか、又は

該熱可塑性ポリマー及び該多官能化合物がそれぞれ、アセトアセトキシ及びアミン官能基を含む請求項1に記載の要素。

【請求項3】

A. デジタルデータ信号に応答するインクジェット・プリンタを用意し；

- B. 該プリンタに請求項1に記載のインクジェット記録要素を装填し；
- C. 該プリンタにインクジェット・インク組成物を装填し；
- D. 該デジタルデータ信号に応答して、該インクジェット・インク組成物を使用して、該インクジェット記録要素上に印刷を施し；そして
- E. 少なくとも該可融性多孔質層を、該層が無孔質になるように融解させる、各工程を含んで成るインクジェット印刷方法。